

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)は、河川再生に関わる事例・経験・活動・人材等を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい水辺再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に2006年11月に設立されました。また、日中韓を中心に活動する「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時に海外の素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担います。

目次

	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ 会員寄稿記事	4
➤ 会議・イベント案内	5
➤ 書積等の紹介	5
➤ 会員募集中	6

巻頭書記

日本全国で寒い日が続いています。雪景色の川を眺めるのも冬の醍醐味ですが、風邪などひかないように暖かい格好でお出かけください。

本号では、昨年12月に行った第9回JRRN ミニ講座の開催報告、11月のARRN/JRRN「第8回水辺・流域再生に関わる国際フォーラム」の講演録(英語版)の発行案内などについて紹介しています。また、市民参加型の河川空間情報共有サイト Web 版「川の通信

簿」の運用に向けたアンケート調査のお願いをしておりますので、皆様のご協力をいただければ幸いです。

そして、今年から JRRN 事務局でも facebook を始めました。当初は、事務局員全員が「facebook って何？」という状態で不安もありましたが、より多くの方々に河川に興味を持っていただきたいとの思いから、何とかスタートしました。皆様からの「いいね!」、お待ちしております。

JRRN 事務局からのお知らせ(1)

第9回 JRRN 河川環境ミニ講座『中国における河川生態系の変化と自然再生の動向』開催報告

はじめに

2011年12月22日(木)18:00より、「第9回JRRN河川環境ミニ講座」を開催しました。

開催要項

講師： 李 建華 氏
東京大学特任教授
(中国・同済大学教授/東京大学特任教授/JRRN会員)
日時： 平成23年12月22日(木) 18:00~19:30
会場： (財)リバーフロント整備センター
言語： 日本語
主催： 日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)

現在東京大学特任教授の李教授を講師にお招きし開催しました。李教授は、河川や湖沼の水環境をご専門とし、かつて建設省土木研究所(現独立行政法人土木研究所)に研究員として7年間勤務され、その後も日本の研究者と交流を通じて日本の水環境事情や技術、法

制度等にも精通されておられます。

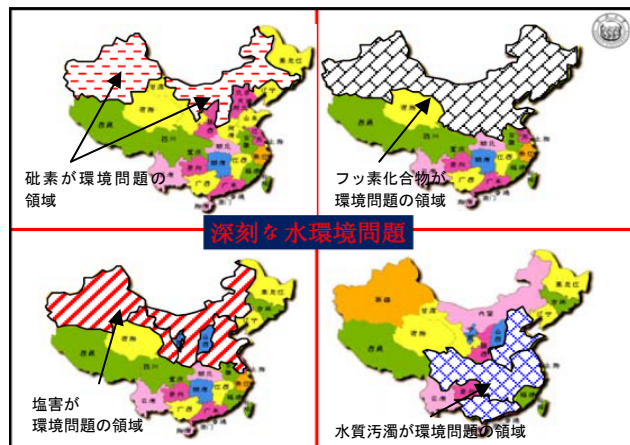
本講演会では、近年の経済発展の背景にある水環境問題及び河川環境事業の動向についてご説明いただきました。



李教授のご講演風景1

ご講演内容

ご講演の冒頭に『中国の経済発展と環境問題』の背景として、中国では国土は北方系と南方系に大きく分類され、特に南方系では水質汚濁や河川に生息する水生生物の量と多様性がともに激減する傾向にあることをお話しいただきました。

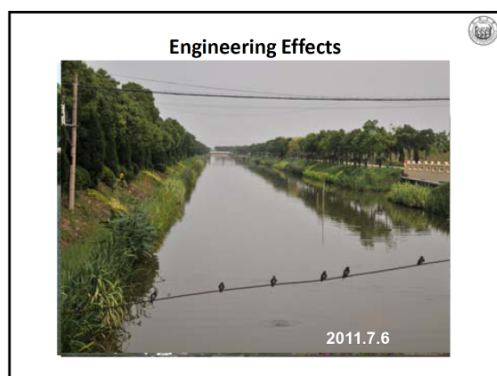


中国国内の水質汚濁問題の分布
(講演資料に一部加筆)

冒頭のお話を踏まえて『水資源と水環境（地表水と地下水）汚染』と題し、①河川修復の歴史とキー問題、②中国河川再生事例、③環境保護における国家“第12次5ヵ年計画”及び④国家河川事業関連計画の4つのトピックについてお話しいただきました。

河川再生は政府主導型の事業であり、北方は流量維持、南方は水質改善が中心である。全国的には水質改善と景観創出を焦点に当てられていること。

また、グリーン産業、流域総合污染防治、飲用水の水源保護、生態系及び生物多様性保全は最重要課題であると位置付けられ、国家環境総局の計画する河川及び湖沼の水質保全に関する計画の必要性、今後実施される予定の水安全・食料安全・公衆衛生の観点からの継続的な水資源保障戦略の推進について説明いただきました。



上海・Chongming島の河川環境再生事例の一例
(講演資料より)



李教授のご講演風景2

最後に

ご講演いただいた内容は、単に中国国内及び流域を分かつ近隣諸国のみならず、我が国とも深い関係があります。

現在、我が国では良好な河川環境再生の事例が定着しつつようになりました。中国ともこれら技術の共有によって互いの更なる技術の向上を図ることも目的の一つとしてJRRN（日本河川・流域再生ネットワーク）は活動して参ります。

この度の講演会にご参加下さった皆様、年末のご多忙な中ご参加いただきありがとうございます。

なお、本行事の講演録は、以下にご案内の通り、JRRNホームページ上にも掲載済みです。本講演会に参加できなかった皆様も講演録をご覧くださいければ幸いです。

■講演録掲載先：

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/publication/>



講演録（PDF8.3MB）

(JRRN 事務局・伊藤将文)

JRRN 事務局からのお知らせ(2)

JRRN の facebook ページの開設案内

河川再生に関わる情報共有基盤の更なる充実を目指し、1月5日(木)にJRRNのfacebookページを開設致しました。

JRRNからの発行物やニュースメール、その他様々なご案内を本サイト上で発信し、今後は英語での情報発信を通じて海外の河川再生関係機関との情報共有も進めて参りたいと思います。

どなたでも閲覧可能ですし、Facebookのアカウントをお持ちの方は、へのご登録により更新情報を入手できますので、ご利用頂ければ幸いです。



<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/information/3055.html>

(JRRN 事務局・和田彰)

JRRN 事務局からのお知らせ(3)

Web 版「川の通信簿」の試行とアンケート調査のお願い

いつでも・どこでも・だれでも河川環境を評価できる市民参加型の河川空間情報共有サイト-『Web版「川の通信簿」』の本格運用(平成24年度以降)に向け、日頃から河川再生に取り組むJRRN会員皆様のご協力を頂きたいとの依頼を「川の通信簿」事務局(仮称)より受けました。

河川環境の更なる改善に向けた取組の一環であり、JRRNの活動趣旨とも合致していると思いますので、皆様のご協力を頂ければ幸いです。

サイトの試行及びアンケートの回答方法等の詳細は、右記のページをご覧ください。



■詳しくはこちらから

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/information/3098.html>

(JRRN 事務局・和田彰)

JRRN 事務局からのお知らせ(4)

ARRN/JRRN 主催「第8回水辺・流域再生に関わる国際フォーラム」講演録(英語版)の発行案内

昨年末に公開しました日本語版に引き続き、2011年11月11日(金)に開催しましたARRN/JRRN主催「第8回水辺・流域再生に関わる国際フォーラム」講演録の英語版が完成しましたのでご案内致します。

日本語版・英語版ともに、講演者プロフィールや講演要旨、また5つの講演の全スライドと講演内容、また全体討議の内容を掲載しております。

皆様の河川再生の取組みにご活用頂ければ幸いです。

■講演録(日本語版・英語版)のダウンロード

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/publication/3051.html>



日本語版



英語版

(JRRN 事務局・和田彰)

水辺からのメッセージ No.33

国土文化研究所 特任研究員 岡村幸二（JRRN 会員）

城下町松代の水路システム： 武家屋敷の生活用水として敷地内をつなぐカワ・セギ・泉水路のネットワーク



撮影：2011年10月（長野市松代町）

◆松代の庭園の特徴は、観賞用の大名庭園とは異なり、日常の暮らしと密着した「生活の庭」であることです。泉水池の岩組みなどは質素で、食用としての鯉を放して洗い場や飲料水などにも使いました。庭の池を結ぶ泉水路が家々まで入りこむ“山水都市”が形成されていることがうかがえます。

※カワ：町内の道路沿いの水路、セギ：背割り線沿いを流れる灌漑用水路、泉水路：各戸の庭の池をむすぶ水路

※国土文化研究所は、株式会社建設技術研究所のシンクタンク組織です。

■ JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。（JRRN 事務局）

会議・イベント案内（2011 年 2 月以降）

（JRRN/ARRN 主催・共催の会議・イベント）

現在企画中です

（その他の河川再生・河川環境に関する主なイベント）

■第3回生物多様性協働フォーラム～ 関西から発信する多様な主体による広域連携に向けて～

○日時：2012 年 2 月 12 日（日）14：00～17：30

○主催：兵庫県立人と自然の博物館

○場所：兵庫県公館 大会議室

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/3089.html>

■荒川流域再生シンポジウム「天然アユを活かした川の再生と地域おこし」

○日時：2012 年 2 月 19 日（日）13:00～17:00

○主催：NPO 法人荒川流域ネットワーク

○場所：国立女性教育会館「大会議室」

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/3092.html>

■第5回 川のワークショップみえ

○日時：2012 年 2 月 19 日（日）12:30～17:30

○主催：第5回川のワークショップみえ実行委員会

○場所：三重県庁 講堂

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/3090.html>

■第164回河川文化を語る会『川から広がるまちづくり～心おどる・水都・とくしまを、目指して』

○日時：2012 年 2 月 20 日（火）18:00～20:00

○主催：公益社団法人 日本河川協会

○場所：厚生会館（全国土木建築健保）

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/3026.html>

■第3回流域からの流出土砂が河川に及ぼす影響について

○日時：2012 年 2 月 24 日（金）13:00～17:00

○主催：（独）土木研究所

○場所：（独）土木研究所 自然共生研究センター（岐阜 各務ヶ原）

<http://www.a-rr.net/jp/event/04/3094.html>

■第22回 河川情報センター講演会「アジアの梅雨・世界の梅雨」

○日時：2012 年 2 月 24 日（金）11：00～12：15

○主催：財団法人河川情報センター

○場所：アピオあおもり

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/3056.html>

■第6回 日本の“いい川”シンポジウム&講習会

○日時：2012 年 3 月 3 日（土）13:00～18:00

○主催：多自然川づくり技術普及研究会

○場所：発明会館 地下ホール

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/3045.html>

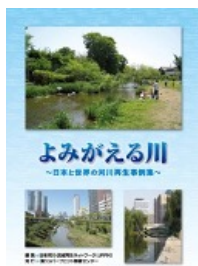
■皆様からのイベント情報提供をお待ちしています！

全国で河川再生に向けた様々な行事が開催されています。ローカル情報のPRや共有を目的に、皆様からの情報提供をお待ちしております。（JRRN 事務局）

書籍等の紹介

■よみがえる川～日本と世界の河川再生事例集～（2011.4 発行）

- ・編集：日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）
- ・発行：（財）リバーフロント整備センター
- ・価格：無料



※本冊子の入手方法

本事例集をご希望の方は、JRRN 事務局までご連絡ください。なお、JRRN 会員限定サービスとさせて頂き、送料のみご負担頂いた上で、無料で提供致します。非会員の方は、JRRN 会員登録後にお申込下さい。

info@a-rr.net / 電話：03-6228-3862

■多自然川づくりポイントブック III 中小河川に関する河道計画の技術基準;解説(2011.10 発行)

- ・著者：多自然川づくり研究会
- ・編集：（財）リバーフロント整備センター
- ・発行：公益社団法人 日本河川協会（2011/10）
- ・価格：¥2,500（税込）



本書は、多自然川づくりのポイントブックの第3弾として、技術基準改定（平成22年）における河岸・護岸・水際部に関する具体的な解説とともに、ポイントブックIIの内容に見直しを加え再編集されたものです。

会員募集中

■ JRRN の登録資格（団体・個人）

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。
市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、
所属団体や機関を問わず、河川環境の整備・改善に携
わるすべてのの方々のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

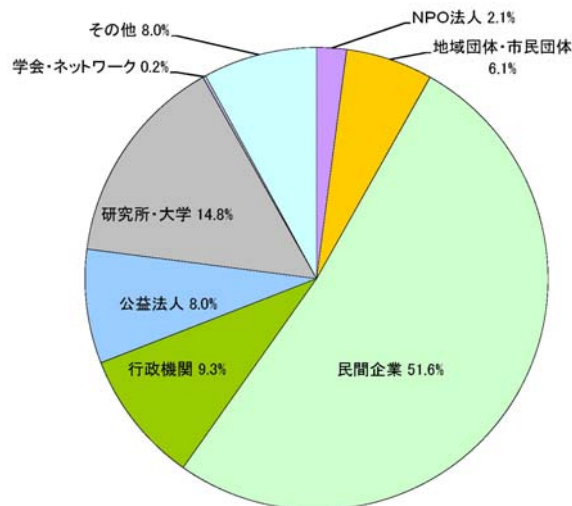
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」を
ご用意しています。

- (1) 国内外の河川環境に関するニュースを集約した
「JRRN ニュースメール」が週に 1 回メール配信さ
れます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が
入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加
することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集
の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベ
ント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川
再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援
を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/info/member.html>



2012 年 1 月 31 日時点の個人会員構成
(個人会員数：539 名、団体会員数：41 団体)

JRRN 会員特典一覧表(団体会員・個人会員)

JRRNが提供するサービス		JRRN 団体会員	JRRN 個人会員	非会員 (一般の方)
1	ホームページへのアクセス及び各記事へのコメント入力※ ¹	◎	◎	◎
2	ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載※ ²	◎	◎	◎
3	ニュースメール(週2回)の配信※ ³	◎	◎	×
4	Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信※ ³	◎	◎	×
5	JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加※ ⁴	◎	◎	×
6	国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援※ ⁵	◎	◎	×
7	ホームページ「最近の話題・ニュース」及びニュースメール「会員提供情報」欄で 団体が関わる行事や出版、技術や製品等の案内の掲載※ ⁶	◎	△※ ⁷	×
8	ホームページ「会員登録」「人・組織のつながり」欄及び年次報告書内で団体 名の掲載	◎	×	×
9	ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信※ ⁸	◎	×	×
10	JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援※ ⁹	◎	×	×

【発行・問合せ先】



日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局
財団法人リバーフロント整備センター 内
〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 新川中央ビル 7 階
Tel:03-6228-3862 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

JRRN は、「アジア河川・流域再生ネットワーク構築と活用に関する共同研究」の一環として、(財)リバーフロント整備センター
と(株)建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

リバーフロント整備センター
財団法人 Foundation
for Riverfront Improvement and Restoration

建設技術研究所
国土文化研究所